



3 布を用いた物の製作

1 製作しよう

学習の目標

- 自分や家族の生活を豊かにするものを考える。
- 製作に必要な材料・用具，目的に合った縫い方などを知る。

考えてみよう

自分でつくってみたいもの，生活の中でこれがあったらいいなと思うものを描いてみよう。



だれ
誰かに喜んで
使ってもらえるものを，
とつくってみました。

自分で使うためのものをつくってみたよ。材料は何か再利用できるものがないか考えました。



じょうずに整頓できる
便利なものをつくりたいな。

●製作の計画● はじめに、あったらいいなと思うものや、つくってみたいものを考え、その目的に合わせて布を用いた物の製作を計画しましょう。手順に従って作業を進め、生活を豊かにする工夫をしてみましょう。

それぞれの工程で大切なことは、次ページ以降の手順と要点にまとめられています。なぜそのようにするのか理由を考えながら、計画を立てます。

形や大きさ、材料、^{そうしよく}装飾なども工夫し、自分の課題をもって取り組めるようにしましょう。



小学校のふり返り

課題

- 小学校の学習をふり返って、生活の中で活用されている、布を使った物にはどのようなものがあるか、話し合ってみよう。



豆知識

2月8日または12月8日は、「針供養（はりくよう）の日」。曲がったり、折れたりした針をとうふやこんにゃくに刺（さ）して、神社に納め、長年使った針を供養するとともに裁縫（さいほう）の上達を願います。

製作の手順と要点

① つくるものを決める

- 生活を快適で豊かなものにするために活用できるものを考えましょう。



② デザインを決める

- 使用目的や使いやすさ、まわりの環境かんきょうとの調和などを考えて、形・大きさ・色などを決めます。

③ 採寸をする

- 正しい採寸をして、型紙選びに生かしましょう。
- 衣服製作の場合は、下に着る衣服を整え、自然に立った姿勢で測ります。



ものさし
定規



巻き尺

④ 型紙を選ぶ（型紙をつくる）

- 簡単な形の物でも型紙があると便利です。自分でつくったり、市販しはんの型紙の中から目的に合うものを選んだりするとよいでしょう。

⑤ 材料・用具を準備する

- 製作する物に適した布や、布地に適した糸や針を選びます。また、それぞれの作業に必要な用具を準備し、安全で正しい使い方を確認しましょう。

針さし



まち針



縫い針



ミシン針



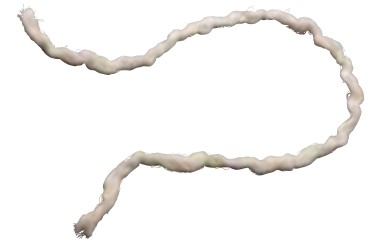
てぬ
手縫い用糸



ミシン糸



しつけ糸



⑥ 裁断とするしつけをする

- 布を外表になるように置き、そとおもてその上に型紙を正しく配置して裁断します。縫いしろの分量を確かめ、注意して裁断しましょう。

裁ちばさみ



ピンキング

ばさみ



- 外表にして裁った布の間に布用両面複写紙をはさみ，ルレットなどで，でき上がり線のしるしと合いじるしをつけます。

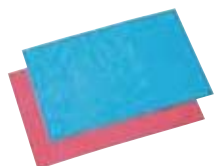
リッパー



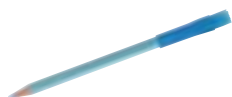
糸切りばさみ



布用複写紙



チャコ
ペンシル



ルレット



へら



7 ^ぬ縫う

- 縫う方法としては，手縫いとミシン縫いがあります。また，縫う箇所^{かしよ}や用途^{ようと}，布の種類によって，様々な縫い方があります。それぞれの縫い方^{とくちょう}の特徴をつかみ，目的に合った方法を選びましょう。

191-5

8 仕上げる

- ^{いとほし}糸端のしまつをしたり，不備なところがないか点検し，アイロンをかけて形を整えます。

アイロン



アイロン台



きりふき



あて布



豆知識

チャコペンシルの芯（しん）はやわらかいので，電動の鉛筆けずり器にかけると，折れてしまいます。芯をけずるには，手動のけずり器が適しています。

191-6